

Q. 新庁舎ができることで市役所は何か変わるの？

A. すべての部署が1か所にまとまります。※消防本部・水道事業部を除く

加治木庁舎の教育委員会（教育部）と、蒲生庁舎の農業委員会と農林水産部が始良庁舎（本庁舎）にまとまります。1か所にまとまることで、みなさんの手続きや相談がしやすくなるとともに災害時などすぐに対応ができます。



Q. 始良庁舎のイメージはできているの？

A. 具体的なイメージ（設計図）はできていません。

設計図をつくる前に、新庁舎（始良庁舎）に必要な施設や設備などについて「始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画」では、次の6つのテーマを決定しました。今後、これらのテーマを反映させながら具体的なイメージをつくり、2020（平成32）年度末ごろをめやすに設計図をまとめていきます。

1 地域の防災拠点施設

- ① 災害に対して十分に備える庁舎
例) 防災対策室、災害対策用の資機材庫、一時避難場所など
- ② 地震に強く、安全な庁舎
例) 大地震に耐える構造、火山噴火・津波対策など

2 親しまれるまちづくりの拠点施設

- ① 市民に開かれた、市民が利用できる庁舎
例) 会議・ミーティングスペース、売店、情報コーナーなど
- ② 地域活動などまちづくりの拠点となる庁舎
例) 観光PRコーナー、市民ギャラリー、喫茶・談話コーナーなど
- ③ 市民の健康増進と子育てをサポートする庁舎
例) 健康相談、子どもと一緒に利用しやすい施設など

3 すべての人にやさしい施設

- ① すべての人が使いやすい庁舎
例) エレベーター、多目的トイレ、バリアフリーなど
- ② すべての人に分かりやすい案内表示
例) 子どもや外国人にもわかりやすい案内図や看板など



4 環境にやさしく経済的な施設

- ① 自然エネルギーを活用した庁舎
例) 太陽光発電、雨水利用、直射日光調整、自然換気など
- ② 維持管理費をおさえた庁舎
例) 維持管理しやすい設備や内装、長寿命の建物など

5 市民サービスの向上を実現する施設

- ① わかりやすく使いやすい庁舎
例) 手続きをする場所がわかりやすい、相談スペースの充実など
- ② 駐車場や交通アクセスが便利な庁舎
例) バス停の敷地内整備、利用しやすい駐車場など

6 機能性と効率性が高い施設

- ① 無駄がなく働きやすい庁舎
例) 働くスペースの共有化、無駄のない書棚や倉庫など
- ② 将来の変化に柔軟に対応できる庁舎
例) コンピューター技術や市民ニーズの変化に対応できるつくりなど

Q. 総合支所はどうなるの？

A. より身近で、より便利な総合支所に建て替えます。窓口サービスはこれまでと変わりません。

これから!

市民ワークショップなどを開き、みなさんの考えや思いをお聞きしながらそれぞれの地域にふさわしい新庁舎のあり方を計画書にまとめていきます。

